

英国留学ガイド

THE BEST POSSIBLE



STUDY
 **K**

 **BRITISH
COUNCIL**

GREAT
BRITAIN & NORTHERN IRELAND


英国留学が 選ばれる理由



英国の教育は、あなたが社会に出るための自信や能力を最大限に引き出します。

英国では、自立思考を促す教育のもと、整った支援環境の中で学ぶことができます。

独自の豊かな文化と卓越した学術水準を持ち合わせる英国は、学生にとって最良の留学先と言えます。英国が選ばれる具体的な理由をご紹介します。

質の高い教育

英国の教育機関に対する評価の高さは世界的に有名です。

英国の大学は、世界ランキングの上位に当初から位置付けられてきました。『タイムズ・ハイヤー・エデュケーション』誌が発表する世界大学ランキング (Times Higher Education World Rankings) 2019年版によると、上位10校のうち3校が英国の大学であり1位と2位は英国の大学が占めています。

世界の大学トップ200校のうち29校が英国の大学で、英国の大学教育は世界的にみても質が高いことが伺えます。

実際海外で学んだ経験のあるノーベル賞受賞者のうち、38%は英国で学んだ経験を有します (ブリティッシュ・カウンシル、2015年)。

英国の大学169校 (高等教育機関679校) はすべて、政府が定める厳格な基準を満たしており、学生は世界的にみても最高水準の教育、サポート、教育資源を享受することができます。



意欲を刺激する教授法

英国は、社会で成功する才能豊かな卒業生を輩出していることで有名です。理由は、英国が革新的な教授法を実践していることにあります。

英国には、伝統を基盤としてそこから拡充するという先駆的アプローチを教育において実施してきた長い歴史があります。それは、学生が学んだことだけによらず、自らの力を最大限に活用できるよう成長していくことにつながっています。

こうした革新的な教授法のひとつが問題解決型学習（problem-based learning）です。学生は将来仕事で直面するのと同様の課題を、実際の授業で解決することを授業の場で求められます。問題解決型学習は大抵の場合、現地調査や現場経験などと組み合わせられ、学生は実際の現場やシミュレーションを通じた体験をします。学生は、時間的制約のある状況で、問題解決型学習を通して、理論を実際に適用し、他人と協力して取り組むことを学びます。こうした環境が学習を促進させ、学生は卒業後の実社会の競争で有利になるのです。

キャリアでの成功をもたらす教育

英国の教育は、世界中あらゆるところで成功の可能性を広げるチャンスを与えてくれます。就職活動で成功する力が身につくだけでなく、就職後にもいかに能力を発揮できるよう導いてくれるのが英国の教育です。

英国の学生の就職力の高さも世界トップクラスです（QS Graduate Employability Rankings＝英国QS社が発表する世界大学就職ランキング）。また、英国の大学は産学連携でも世界の先端をいっており、社会での即戦力につながる実践的な就業体験の機会を得ることができます。



世界をリードする研究 に触れる

英国は科学・研究における世界有数の大国です。非常に多くの大学が世界的な発見をおこなうなど新技術の最先端にあり、知恵と経験を身に付けた英国の卒業生は、世界中から引く手あまたです。

科学・研究で世界第2位にある英国は、研究成果の54%が世界トップレベルとされています。これは米国、カナダ、ドイツ、日本、ブラジルを上回る数字です。英国が世界の人口に占める割合はわずか0.9%ですが、世界で最も引用される研究の15.2%を生み出しています（エルゼビア社&ビジネス・エネルギー・産業戦略省、2016）。

短期間でフレキシブルな学習コースと多様な科目

留学生にとって英国が最良の選択肢となるのは、英国の大学が世界的に有名という理由だけではありません。英国では、短期間で学習成果を最大限にあげられるように、個々の学習者にぴったりのコースを選ぶことができます。情熱を注ぐ対象が何であれ、50,000以上のコースが提供されている英国は、学生が興味を追究できる素晴らしい場所と言えます。

また英国ではほとんどのコースで柔軟な受講が可能です。多くの大学で、学生はさまざまな科目（モジュール）を選択できるため、自分に合ったコースを組み立て、最良の経験を積み上げることができるのです。

英国の大学院課程は米国やオーストラリアと比べて履修期間が短く、多くのMBA（経営学修士号）はわずか1年で取得できます。つまり、コストパフォーマンスが良く、学んだ知識を実社会でより早く活かせるのです。



手頃な授業料と生活費

英国は手頃な費用で学べる国です。

留學生活に必要な留學資金の計画を立てるために、どのような費用が発生するか把握するようにしましょう。

どの地域に留學するかによって必要額が異なります。ロンドンなどの大都市では、他の地域に比べ費用が高い傾向にあります。留學する教育機関に、その地域での一般的に必要なとされる生活費などについて相談してみましょう。

さまざまな奨学金や支援も提供されていますので、積極的に情報収集を行いましょう。

コースの選び方

英国の大学共通の入学手続機関であるUCASでは、英国の教育機関395校以上、50,000を超えるコースをリストアップしています。以下のウェブサイト（英語）で学習コースの検索が可能です。

digital.ucas.com/search

UCASの教科ガイド（英語）で、学部コースや、学習内容、出願方法などを調べることができます。

**[www.ucas.com/
ucas/subject-guide-
list?scheme=undergraduate](https://www.ucas.com/ucas/subject-guide-list?scheme=undergraduate)**

そのほか、Study UKのウェブサイト（英語）からも大学検索が可能です。

**[study-uk.britishcouncil.org/
find/university](https://study-uk.britishcouncil.org/find/university)**

英国留学の 種類



大学、大学院、英語コースやその他の選択肢を含め、あなたに最適なコースを探す方法をご紹介します。

大学（学部）

キャリアに弾みをつけたい留学生に対して、英国は世界トップクラスの教育だけでなく、それ以上のものを提供しています。学生はあらゆる面で幅広い学習体験を積み上げ、将来を築くスキルと知識を獲得し、自信をもって卒業することができるのです。

コースの選び方

大学院のコースについて総合的に検索できるProspectsのウェブサイト（英語）が便利です。修士課程、MBA、博士課程、ポストグラデュエイト・ディプロマ/サーティフィケート、法律資格、教員研修などについて詳しく記載されています。

www.prospects.ac.uk/postgraduate-courses

学部レベルのコースの種類：

- **学士課程**：BA（Bachelor of Arts）、BSc（Bachelor of Science）、BEd（Bachelor of Education）、BEng（Bachelor of Engineering）。フルタイムの学士課程は一般的に3年制です（コースや地域によっては4年制の場合もあります）。一部の総合大学やカレッジでは、パートタイム※の課程も提供されています。
- **短期課程**：Foundation Degree（職業訓練分野の大学レベルコースで期間は2年間。学士初期課程と同等レベル）、Diploma of Higher Education（高等教育ディプロマ、特定の職業や専門職に関するコースで期間は2年間。学士初期課程と同等レベル）、Higher National Diploma（2年間のコースで、学士初期課程と同等レベル）、Certificate of Higher Education（高等教育サーティフィケート、特定の職業や専門職または学術分野に特化して学ぶコースで、学士課程1年目と同等レベル）

※パートタイムは通常フルタイムより修了までの期間が長く、働きながらなど、自分のペースで勉強が可能です。期間はコースによってさまざまです。

大学院

英国は非常に優れた大学院生を世に送り出していることで世界的に評価されています。先進的な教授法から世界トップレベルの研究まで、毎年何千人もの留学生がキャリアアップをはかるために英国を留学先として選んでいます。

大学院レベルのコースの種類：

- 修士課程：MA (Master of Arts)、MSc (Master of Science)、専門分野別のMEng (Master of Engineering)、MFA (Master of Fine Arts)、LLM (Master of Laws)、MArch (Master of Architecture) などの課程、研究を主体とし主に博士課程に進む学生向けのMPhil (Master of Philosophy)

フルタイムの修士課程は、通常、講義主体のtaught master'sで1年制、研究主体のresearch master'sで2年制です。一部の大学ではパートタイム課程も設けられています。

- MBA (経営学修士) 課程
- 博士課程 (PhD/doctorate)
- ポストグラデュエイト・ディプロマ／サーティフィケート：通常、修士課程より短く、卒業論文や学位論文は求められません。
- 専門／職業資格：ほとんどのコースに実務研修が含まれています。



学部や大学院のほかにも、英国では多くの選択肢が留学生にも提供されています。

- **継続教育 (Further education) :** 継続教育とは中等教育以後の教育を指しますが、大学の学部や大学院の教育のことではありません。継続教育を提供する英国の教育機関では、16歳以上の学生を対象に技術的・専門的な教育研修を提供しています。受けられる資格やトレーニングには、GCE-Aレベル資格※、Apprenticeship（養成訓練制度、企業に雇用されて働きながら訓練を受講）、Traineeship（低資格の若年失業者向け職業能力訓練制度）、職業資格、入門レベルのトレーニングなどがあります。
- **進学準備コース (Foundation pathway course) :** このコースは留学生が英語のスキルを高め、自信をつけて学部や大学院で勉強をスタートするための準備コースです。英国の文化に適応し、大学での指導に慣れるための機会を提供します。
- **英語コース :** 英語発祥の地であり、学術のレベルの高さには定評があります。

- **ボーディング・スクール (4歳～18歳対象) :** 生徒が学校で生活しながら学ぶ寮制の学校です。GCSE、GCE-Aレベル、国際バカロレアなど、国際的に認められている資格の勉強ができます。英国全体で500校ほどのボーディング・スクールがあり、その多くが私立です。

通信教育

英国の高等教育資格はオンラインコース、英国以外の海外の学校との提携プログラムなど、さまざまなトランスナショナル教育 (Transnational education (TNE)) の提供により実際に英国に留学しなくても取得できるプログラムもあります。詳しくはブリティッシュ・カウンシルのウェブサイトでご案内しています。

www.britishcouncil.jp/studyuk/options/uk-qualifications-overseas

また、学習コースやその他の英国留学の種類について、以下のウェブサイト（英語）にも詳しい情報を掲載していますので、ご活用ください。

study-uk.britishcouncil.org/options/find-course

※ GCE-Aレベル (General Certificate of Education, Advanced Level) は、大学の入学資格として英国（イングランド、ウェールズ、北アイルランド）で最も広く認められている資格です。スコットランドは制度が異なり、SQC (Scottish Qualifications Certificate) ハイヤー、アドバンス・ハイヤーという資格を取得します。

出願方法



大学（学部）への出願

ほとんどの大学（学部）への出願は、大学共通の入学手続き機関であるthe Universities and Colleges Admissions Service (UCAS) を通じて行います。UCASからの申請※は、www.UCAS.comにアクセスし、申請システムに情報を登録して行います。UCASを使用し最大5コースまで出願することができ、可否の結果もUCASを通じて伝えられます。

出願締切

コースにより締切日が異なります。最新情報は、UCASのウェブサイトを確認することができます。

10月

- 各大学の医学、獣医学、科学、歯学コース
- オックスフォード大学やケンブリッジ大学のコース

1月15日

- 上記以外のほぼすべての各大学のコース

1月の締切後以降も、Late Applicationとして6月30日の最終締切までの間も出願可能ですが、人気のコースは早めの出願をお勧めします。

6月30日

Late Application 最終締切

最終締切を過ぎた願書については自動的に定員に空きがあるコースに振り分けられる「clearing」の対象となり、希望の大学に入学できる保証はありません。

英国に160校以上ある大学やカレッジには、様々な学習方法が用意されているため、自分に合った学び方を見つけることができます。以下の大学検索ツール（英語）で大学の情報がチェックできます。

study-uk.britishcouncil.org/find/university

※ UCAS 申請には少額の事務手数料が発生します。

修了資格の確認

自分が持つ修了資格が英国のどの資格と同等かを比較したい場合、National Recognition Information Center for the UK（英国資格審査センター、英語）で確認することができます。

www.naric.org.uk/naric

志望動機書

英国の大学で学ぶための出願書類の一つとして、Personal Statement（自己紹介・志望動機）の提出が求められます。コースの志望理由や、自分の能力や経験が志望分野にいかに適しているかをアピールする機会となります。

作成のポイント

大学のウェブサイトのコース説明に記載されている必要な資質や技能、経験を確認し、それらが自分にマッチしていることを説明しましょう。

そしてなぜそのコースを志望するかについて書きましょう。コースについて特に関心のある点や、将来の目標にそのコースがどう役立つかにつき言及してください。

自分の学歴がそのコースに適していることを明確に説明するとともに、その他の課外活動や職業経験などについても記載しましょう。

その他の書類

修了証や成績証明書など過去の成果に関する証明書の提出を大学から求められる場合があります。

UCASは、国際バカロレアなど一部の試験結果は証明書なしで取り扱いますが、海外の学校に関してはほとんどの場合、自分で修了証や成績証明書を大学に送付する必要があります。

これについては大学によって方針が違うこともあるため出願先の各大学に直接確認してください。

志望動機書の書き方について以下のウェブサイト（英語）でさらに詳しくアドバイスしていますので参照ください

www.ucas.com/undergraduate/applying-university/how-write-ucas-undergraduate-personal-statement

大学（学部）への出願に関する詳細は、以下のウェブサイト（英語）をご覧ください。

study-uk.britishcouncil.org/find/how-to-apply/undergraduate

大学院への出願

通常、英国の大学院はそれぞれが出願書類を審査しており、各大学院のウェブサイトを通じて直接出願手続が行えます。入学要件や出願方法については大学院各コースの情報を確認してください。

大学院コースの多くは、出願締切を厳密に設定していない場合が多いですが、入学の可能性を高めるには、早期に出願することをお勧めします。コース開始の6カ月から1年前を目途に出願しましょう。

英国の大学院コースへの出願については、以下のウェブサイト（英語）に詳しく記載されていますのでご覧ください。

[study-uk.britishcouncil.org/
options/apply/postgraduate](https://study-uk.britishcouncil.org/options/apply/postgraduate)
www.prospects.ac.uk/applying-for-a-masters-degree

出願に必要な書類

志望動機書（Personal Statement）
- 学部レベルの志望動機書に比べ、より具体的で独自の内容であることが求められます。出願するコースの内容をよく理解した上で作成しましょう。以下のウェブサイト（英語）に書き方のアドバイスが記載されています。

[www.prospects.ac.uk/
postgraduate-study/masters-degrees/](https://www.prospects.ac.uk/postgraduate-study/masters-degrees/)

- 成績証明書
- 推薦状2通以上
- 履歴書
- 英語能力証明書
- 作品集（必要な場合）
- 研究計画書（必要な場合）

費用



英国留学はかかる費用に見合う価値があります。とくに英国の修士課程は1年間で修了するため、より安く学べ、より早い就職を目指せます。

ウェブサイト「Which? University」(英語)に英国留学費用の計算ツールが掲載されています。留学先の大学を選択すると、住居や衣服、趣味に至るまで、その地域での生活に必要な各種費用について目安が表示されます。

university.which.co.uk/student-budget-calculator

授業料

英国の授業料は以下の条件などにより変わります。

- 出身地が欧州連合 (EU) や欧州経済地域 (EEA) 加盟国か、それ以外の国か
- 大学が英国内のどの地域にあるか (イングランド、スコットランド、北アイルランド、ウェールズでルールが異なるため)
- 学位のレベル

出身地がEU以外の学生の授業料は各教育機関で設定されますので、出願先の大学やカレッジに確認する必要があります。

奨学金・費用サポート

留学費用サポートが必要な学生のために、数多くの育英資金や奨学金、補助金があります。また、多くの教育機関が独自の育英資金や奨学金を提供しています。詳しくは各大学のウェブサイトで確認してください。



グローバルな 奨学金制度

留学先の就学コースにもよりますが、以下のような奨学金や割引制度などがありますので適宜活用ください。

- チーヴニング奨学金：将来リーダーになる可能性のある学生を対象として、英国政府が提供する大学院生向け奨学金
www.chevening.org
- 英連邦奨学金・研究奨励金：英国政府が資金を提供する英連邦諸国の出身の大学院生に提供される奨学金で、英国で学んだ後に本国の発展に貢献できる人材を支援することを目的とする。

cscuk.dfid.gov.uk/apply

出身国別の奨学金

さまざまな奨学金がありますが、なかには出身国が条件となっているものもあります。

詳しくは以下のサイト（英語）をご覧ください。

study-uk.britishcouncil.org/scholarships

また、日本から英国を含む海外各国へ留学する学生のためにさまざまな奨学金制度があります。独立行政法人日本学生支援機構のウェブサイトなどで詳細を確認してください。

www.jasso.go.jp/ryugaku/study_a/scholarship/

学生割引

全国学生組合（cards.nusextra.co.uk（英語））の組合員証や国際学生証（www.isicjapan.jp/ja/the-cards/isic-student-card/）があれば、ショッピングやレストランなど各種サービスを学生割引価格で利用できます。カードの利用方法については、各ウェブサイトをご覧ください。



学生ビザ



ビザ申請の最新情報については、以下のウェブサイト（英語）をご覧ください。

www.gov.uk/visas-immigration

16歳以上の学生が高等教育レベルのコースへ留学する場合、Tier4(一般)学生ビザを取得する必要があります。

学生ビザの申請方法

通常以下の書類が必要ですが、出身国によって異なる場合があります。

- 留学先が発行する入学証明 (Confirmation of Acceptance for Studies, CAS) のリファレンス番号
- 授業料や生活費の支払能力を証明する書類
- 出身の教育機関が発行する卒業証明書や成績証明書など（英文）
- 英語力を証明できる書類

申請方法

- オンラインでビザ申請の提出、申請料の支払、ビザ申請センター (Visa Application Centre, VAC) での面接予約
- ビザ申請センターで申請書と必要書類を提出
- ビザ申請センターで指紋の採取 (ビデオ面接が行われる場合も)

ビザの取得にかかる時間

UKVI（英国ビザ・イミグレーション）は、15営業日以内に学生ビザ申請の審査を終えるよう努めていますが、ビザ発給の準備と申請には、時間に十分な余裕を持って行うことをお勧めします。渡航の3カ月前から申請することが可能です。

早急に取得する必要がある場合は、有料のプライオリティ・サービスも利用できます。詳しくは、以下のVFS グローバル（英語／日本語）のウェブサイトをご覧ください。

www.vfsglobal.co.uk/en

英国での生活



素晴らしい留学体験

英国留学では、新しいことを学んだり世界中から集う友達ができたりと、学生生活を楽しむ機会が数限りなくあり、記憶に残る素晴らしい学生生活を体験することができるでしょう。

大学の滞在施設

ほとんどの大学やカレッジには住居相談窓口があるので、滞在施設については、まずこちらに相談するのがよいでしょう。多くの学校では、学生寮（食事付き／自炊）、シェアハウス、アパートなど留学生用の滞在施設を用意しています。部屋数が限られている場合が多いので、申込は入学許可を受け取り次第、確実に指定の期日の前までに行うのがよいでしょう。

民間の滞在施設

民間の滞在施設についても、各学校の住宅相談窓口で紹介してくれることがあります。学校がある地域の施設のリストが入手できたり、滞在予約を手伝ってくれる窓口もあります。

民間の滞在施設として最も一般的なものは、共用設備のある住宅の一部屋を借りるパターンです。家具付きの住宅やアパートを借りるのは、特に都市の中心部ではとても高額で、見つけるのも困難です。他の学生とシェアすることで、そうした部屋に手頃な金額で住むことができます。必ず費用の分担について事前に決めておくようにしましょう。

食事

海外に出て最も恋しくなるものの一つが食事ですが、英国に来れば、食事が生活の中で最高の楽しみになるかもしれません。

多くの都市や町には、さまざまな価格帯のスーパーマーケットがあります。輸入食材を扱う店も増えています。

一週間の食料品の一人分の平均費用は25ポンド程度といわれています。

大学の食事付き学生寮では、通常月曜から金曜まで朝食と夕食が提供されます。必要な時に食事が用意されているので負担が減り、食事タイムは他の学生と交流する時間にもなります。

学生生活の中で食事や料理を積極的に学ぶことも大切です。生い立ちや文化が違う人々と一緒に暮らす中で彼らを作るさまざまな料理を味わう機会もあるでしょう。アパートの同居人に、簡単に手早く作れる異国の料理の作り方を教わるのもよいでしょう。さまざまな料理を楽しみ新しいレシピに挑戦してみてもいいでしょうか。



余暇の過ごし方

学校では通常、学生自治会がさまざまな種類の交流行事を企画しているほか、多くのクラブや交流団体の活動に参加することができます。

芸術や文化に関心があれば、英国には美術館・博物館、劇場などの文化施設が数多くあり、気軽に訪れることができます。

英国のレストランの人気は高まっており、種類もより豊富になっています。英国の多くの大学生の社交の場として、パブも人気です。パブでは必ず酒を飲まなければならない、ということはありません。ノンアルコール飲料もたくさん用意されています。多くのパブでは食事のほか、カラオケ、サッカーの中継、パブ・クイズ（毎週行われるチーム対抗イベント）などを楽しむこともできます。

英国には、ロンドンのO2アリーナやグラストンベリー・フェスティバルなどの世界最大規模のライブ会場やイベントがありますが、世界的に有名なアーティストやバンドが大学やカレッジで演奏することもよくあります。小さなバーやカフェでも頻繁にライブ音楽やダンスイベントを開催しています。

映画館はほぼすべての町にあり、世界中の映画を観ることができます。ハリウッド映画はもちろん、主要都市には外国映画や自主製作映画専門の映画館もあります。多くの大学には学生用の映画館があり、キャンパス内で映画を学生料金で観ることができます。

スポーツファンにとっては、英国にはその情熱を注ぐことができるさまざまな機会があります。英国では人々はあらゆる種類のスポーツに熱狂し、また、多くの世界トップクラスのアスリートやスポーツクラブを有しています。サッカーなどのチーム競技でも、陸上のような個人競技でも、勉強のかたわら一番好きなスポーツを楽しみ、競技に参加する方法を見つけれられるでしょう。



英国の天候と服装

英国の天気は一日の中で変わりやすいことがあります。天気の変化に合わせて脱ぎ着できるように何枚か重ね着し、常に傘を持ち歩くようにするとよいでしょう。

夏の平均気温は9～18℃（48～64°F）です。たまに熱波に襲われ、30℃（86°F）程度に達することがあります。

冬の平均気温は2～7℃（36～45°F）ですが、0℃（36°F）を下回ることもあります。ほとんどの住宅、建物、列車、バスに十分な暖房設備があります。一般的に英国国内での天候の地域差はほとんどありませんが、北部や山間部では雪や雨風の日がより多くなります。

ほとんどの町や都市には、さまざまなスタイルや価格帯の衣類が多くの店舗で販売されています。英国の学校、カレッジ、大学ではありとあらゆる種類のファッションを目にします。学生は通常、日中はジーンズとTシャツといったカジュアルな服装ですが、夜に出かけるときはもっとおしゃれをします。しかしほとんどの学生向けのバーやパブにはドレスコードはありません。

授業の一部では、健康と安全のために特殊な衣類の着用が求められます。例えば、科学実験室では防護眼鏡と白衣を身に付ける必要があるでしょう。

英国は多文化の国で、それぞれの文化や宗教に基づく服装、例えばヘッド・スカーフ、キッパー（ユダヤ教の男性が被る帽子）、ターバン、サリー、ロングスカートなどを身につけている人がよく見られます。主要な町や都市には、世界各国の衣類、特にアジアや中東の衣類を販売する専門店があります。



英国の魅力を探る

にぎやかな都市から、雪をいただく山々、緑豊かな丘、高原や島々まで、美しい英国の魅力をぜひ探ってください。比較的小さな国で交通網も発達しているため、滞在中に多くの場所を訪れることができます。見どころとしては、魅力あふれる歴史的な建物、最先端のファッションや劇場、食事などを満喫できるロンドン、有名なサッカーチームがあり、ナイトライフを楽しめるマンチェスターやリバプールなど北部の都市、豊かで美しい自然とエネルギッシュな都市が混在するスコットランド、ウェールズの国立公園の素晴らしい風景、北アイルランドの海岸線の壮観な眺めなどがあげられます。

英国の魅力について以下のウェブサイト（英語）で詳しく知ることができます。

www.visitbritain.com

健康と安全

英国は世界有数の優れた保健医療制度を有し、低い犯罪率を誇る国であり、安心して学ぶことができます。

英国のNHS(National Health Service、国民保健サービス)は世界で最も高度な保健医療システムのひとつで、加入者は安全かつ最新の治療を受けられます。

NHSのサービスを利用するためには、ビザ申請手数料の一部として健康保険料の支払いが義務付けられています。

英国は犯罪率が低く信頼できる警察組織を有しています。多くの教育機関では警備員を置き、キャンパス内のパトロールを行っています。また、学内で安全に過ごすための情報を学生に提供しています。

英国の宗教

多様な宗教が共存する英国では、いかなる信仰を持つ学生でも歓迎されるでしょう。お祈りなど自身の信仰を实践する場所も数多くあります。多文化主義の歴史が数百年に及ぶ英国は、主な宗教について強固な基盤のあるコミュニティがあり、また教育機関で学生の宗教的ニーズに対応できるよう真剣に取り組んでいます。

英国は、あらゆる点で非常に寛容な社会であることに誇りを持ち、人種、国籍、宗教で差別がおきないように法で厳しく管理しています。



役に立つリンク

日本語

ブリティッシュ・カウンシル 英国留学：
www.britishcouncil.jp/studyuk

ブリティッシュ・カウンシル 英国留学ニュースレターへの登録：
www.britishcouncil.jp/studyuk/updates/newsletter

英語

留学全般：

Study UK ウェブサイト：
study-uk.britishcouncil.org

Study UK Facebook：
www.facebook.com/StudyUK.
 BritishCouncil

大学検索：
study-uk.britishcouncil.org/find/university#/

英国で学ぶことができる
 専攻分野の紹介：
study-uk.britishcouncil.org/find/subjects-areas

Study UK newsletter（英語）
 購読登録：
study-uk.britishcouncil.org/newsletter

英国への渡航：
study-uk.britishcouncil.org/moving-uk

奨学金：

study-uk.britishcouncil.org/scholarships

学生ビザ：

最新情報：
www.gov.uk/visas-immigration

英国ビザ申請センター
 （英語／日本語）：
www.vfsglobal.co.uk/en

**Universities and Colleges
 Admissions Service (UCAS)：**
www.ucas.com

Discover Uni
 （高等教育機関の各コースのデータを
 比較できる公式サイト）：
discoveruni.gov.uk

Association of Colleges
 （英国全土のカレッジ所在地）：
www.aoc.co.uk/about-colleges/map

Prospects
 （大学院のコース検索）：
www.prospects.ac.uk/postgraduate-study

編集・発行：ブリティッシュ・カウンシル

発行日：2020年3月17日

印刷・製本：株式会社正文社印刷所

◎本誌の無断複写（コピー）、転載を禁じます。

◎本誌の記事内容、料金や数字は、2020年1月現在の資料に基づき編集されています。

英国留学専用保険

ジェイアイの英国留学専用保険だから提供出来る安心サービス



- ★ロンドンに対面サポートデスクの設置
- ★メンタル・健康・生活相談サービス
- ★医療通訳サービス
- ★医師・病院の案内サービス
- ★キャッシュレスサービス
- ★すべて日本語で対応可能



TIP JAPANはブリティッシュ・カウンシル主催の英国留学フェアのオフィシャルパートナーです

海外旅行・留学保険センター

TIP JAPAN

<http://www.tip-japan.com>

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館2階 (パスポートセンター印紙売場隣)
TEL:03-3212-4891 FAX:03-3215-2768
E-mail: info@tip-japan.com

●営業時間

月～木曜 10:00～19:00 金曜 10:00～17:00
日曜 12:00～17:00 (定休日) 土曜・祝祭日

●アクセス

JR/地下鉄有楽町線 有楽町駅下車 徒歩1分

留学保険の事なら何でもお問い合わせください。専門スタッフが親切・丁寧にご案内します。



0120-847-576

☆各国大使館と提携しており、留学関連イベントに参加しています。

☆パンフレット掲載プラン以外にご要望に合わせたプランもご案内できます。

☆ご来店でも、ご郵送でも、オンラインでもお申込み頂けます。(英国留学専用保険はオンライン対応しておりません)

☆クレジットカードで一括、分割、リボのお支払いが可能です。

☆海外旅行保険における代表的な保険会社の保険もご案内できます。

☆開業以来100,000人以上のお客様に海外旅行保険のご契約をいただいております。

